

お知らせ

平成19年5月23日

『ハイツカ湖でオオクチバス対策試行中！』

～産卵床の干し出しを試行しています～

灰塚ダム(広島県三次市三良坂町)の貯水池(ハイツカ湖)でオオクチバスの繁殖抑制対策としてオオクチバス産卵床の干し出しを試行していますのでお知らせします。



【お問い合わせ先】

国土交通省中国地方整備局三次河川国道事務所灰塚ダム管理支所

(電話) 0824-44-4360

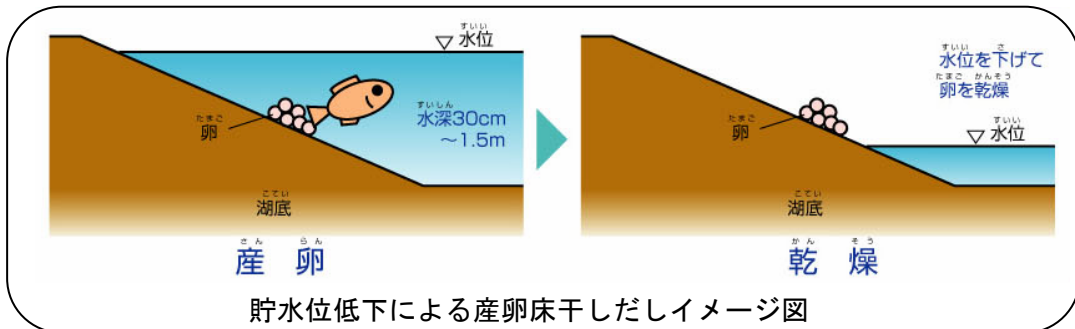
灰塚ダム管理支所長
専門員

いまおか としかず
今岡 俊和
いりかわ なおゆき
入川 直之

1. オオクチバス繁殖抑制対策の概要

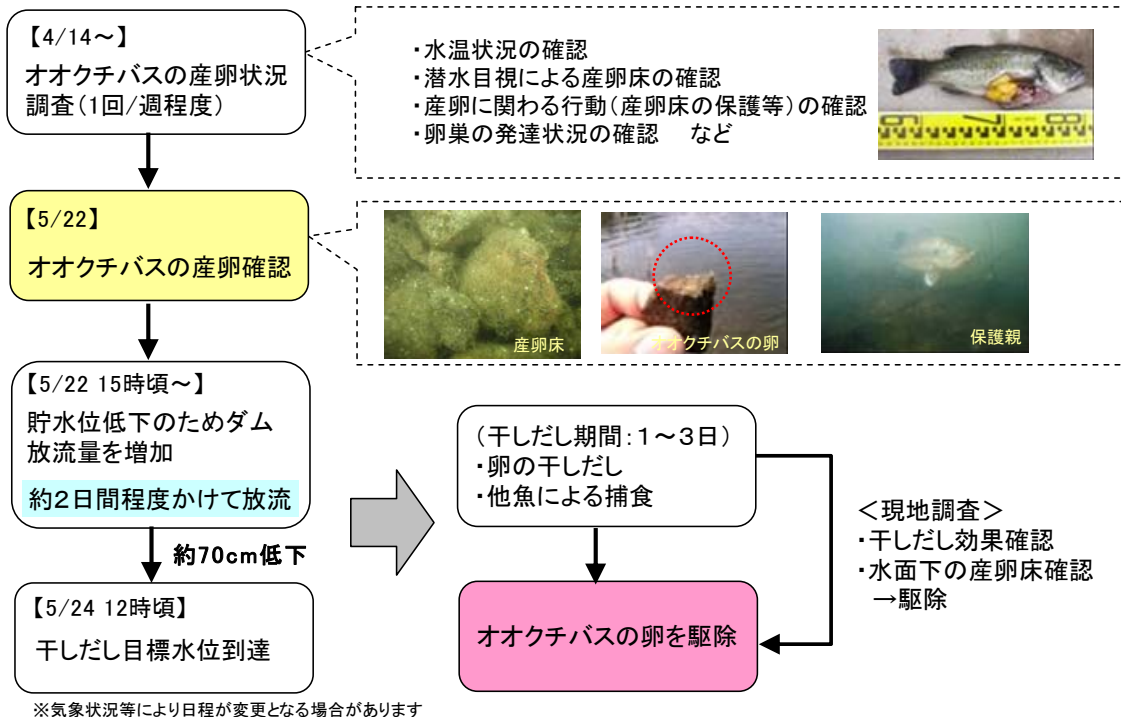
＜ダム貯水位の低下による産卵床の干しだし＞

オオクチバスは水深 2.0m よりも浅い所に産卵する習性があるため、貯水位を調節して産卵した場所を乾燥させて卵を駆除する取り組みです。



2. 試行のながれ

灰塚ダムでは、4月中旬頃から1週間に1回程度のペースでハイヅカ湖におけるオオクチバスの産卵生態状況を調査しています。本試行ではハイヅカ湖において産卵が確認された後、ダム下流河川に配慮しながらゆっくりと貯水位を低下させて産卵床の干しだしを行うものです。



貯水位低下による産卵床干しだしの試行フロー

3. その他の取り組み

○人口産卵床の設置

水深の浅い所にある砂礫(小石)に産卵する習性を利用し、貯水位の浅いエリアに人工産卵床を設置して、貯水位を低下させたり引き揚げるなどして、産卵床を乾燥させて卵を駆除するものです。



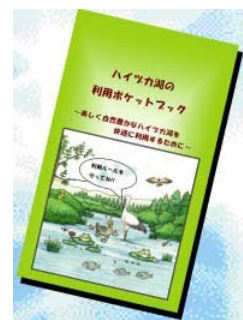
○流下防止対策

ダム貯水池内に目の細かい網を張り、出水時などにダムから下流に外来魚が流下することを防いでいます。

○リリース禁止の啓発活動

平成 19 年 3 月 26 日広島県内水面漁場管理委員会の指示により、ブラックバス(オオクチバス・コクチバス)およびブルーギルの再放流(リリース)が禁止されました。

灰塚ダムでは、釣り人などのダム利用者へリリース禁止について協力して頂けるようパンフレットの配布するなどの啓発活動を行っています。



「ハイヅカ湖利用ポケットブック」

3. ハイヅカ湖におけるオオクチバス確認状況

灰塚ダムは、湛水開始から約 2 年経過しました。ここでは、平成 18 年度および今年度実施した調査の概要を紹介します。

【平成 19 年度調査速報】

右図に示す 7 地点(水深が比較的浅い地点を選定)において、4 月 12 日より週 1 回程度の頻度で調査を行っています。

5 月 15 日までの調査では、産卵床を掘っている(準備段階に入っている)ものは確認されましたが、産卵行動は見られていませんでした。5 月 22 日の調査で、St.2, St.3, St.4で合計 13 箇所産卵床確認されました。確認された産卵床の水深は 0.35m~1.5m 程度でした。



【平成 18 年度調査結果の概要】

上記と同様の 7 地点において調査を継続した結果、ハイヅカ湖におけるオオクチバスの産卵生態等の特徴を概ねとらえる事ができました。

☑水温が 20℃~23℃前後を中心に産卵活動が活発化しているものと推測された

☑孵化後稚魚は、まずは群体(球状)で行動するが、体長が 1.5cm を超えるころ、群れが分散し、単独で行動するようになる生態を確認した

また、産卵生態調査のほかオオクチバスの捕食状況についても調査しており、コイ科・フナ属・ドジョウ科・ヨシノボリ属などやアメリカザリガニなどのエビ目のが主に捕食されている状況を確認しています。

